

学校経営方針

小学校教育の目的は、こどもたち一人一人の能力を伸ばし、社会において自立的に生きる基礎を培い、将来の社会を担う人間を育成することです。日々の教育活動では、生命及び自他の尊重を基盤として、基礎的な学力の確実な定着とともに新たな課題に挑戦し解決しようとする力の育成、思いやりや規範意識の醸成、体力の向上、基本的生活習慣の定着を図っていきます。「**できた！の自信を次のステップに**」を合言葉に、**教育活動の工夫と改善を図り「一人一人が認められ、自信を付け、充実感・達成感を味わえる学校」の実現**に学校・地域・保護者と連携して取り組んでまいります。

学校経営の基本方針

1 変化の激しい時代を生き抜くこどもをはぐくむ学校

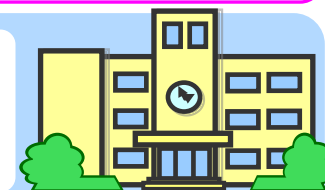
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、様々な学習場面において「対話的、協働的な学び」の充実をはかります。
- 新たな課題を自ら設定し、試行錯誤を重ねられるよう探究的な活動を重視し、課題解決力を向上させ、学ぶ楽しさを感じられるよう授業改善を図ります。
- 互いに認め合い、自分の成果を客観的に見つめることで、自己の成長を実感するとともに自分に自信をもち、自己有用感を感じられる力を付けていきます。
- 特別の教科道徳、特別活動等を通して、自己の存在の大切さが実感できるようにし、他者との望ましい人間関係形成能力をはぐくみます。
- 「マイ・スクールスポーツ」(一校一取組)「マイ・クラススポーツ」(一学級一実践)を基に体を動かす機会を確保することで、体力の向上に努めます。
- 教育相談体制を充実させ、スクールカウンセラー、サポートルーム、外部関係機関と連携しながら児童の悩みに寄り添い、解決します。

2 こどもの命を最優先に、迅速な対応をする学校

- 学校ホームページを活用し、経営方針や毎日の教育活動等の様子を発信することで学校の様子を皆様にお知らせします。
- 日々の安全点検や、安全指導、防災教育を充実させ、事故の予防など危機管理を徹底するとともに、万一の際には、児童の身体・生命の安全を第一に、迅速かつ適切な対応に努めます。
- 保護者や地域からの相談には接遇マナーを徹底し、誠意をもって迅速に対応します。
- 保護者会やPTA活動などを活用し、保護者同士の交流や学校との連携を進めながら保護者と共にこどもを育てていきます。

【教育目標】 人間尊重の精神に基づき、児童一人一人の個性や能力、創造力を最大限に伸ばすとともに、国際社会にたくましく生き、生涯にわたって学び続ける、人間性豊かで、調和のとれた児童の育成を目指して、次のような児童像を掲げ、教育活動を推進する。

- 考える子・・・基礎・基本を身に付け、主体的に自分の力で問題を解決し、未来を創る子
- 心豊かな子・・・思いやりの気持ちと協力する心をもち、自分を大切に、未来を創る子
- たくましい子・・・様々なことに挑戦し、ねばり強く最後までやりとげ、心身を鍛えて未来を創る子



目指す児童像 「自信を付け次の課題に挑戦するこども」

3 地域とともにこどもをはぐくむ学校

- 生活科、総合的な学習の時間及び区独自教科「おおたの未来づくり」を通して、地域の自然や特徴を活用したりものづくり産業との連携を推進したりすることにより、地域の理解をより一層深め、地域を愛するこどもをはぐくみます。
- コミュニティスクールとして「学校運営協議会」を母体に説明責任を果たすと同時に、より一層保護者地域の願いを反映させた学校経営を行います。また、「スクールサポート大4」と連携し、地域とともにある学校づくりを推進します。

4 組織の強みを生かして対応する学校

- 教科担任制を実施し学年を基本単位とした対応を行います。事案発生の際には必要に応じて、主幹、管理職を加えて組織的に対応します。そのために学年間及び校内における情報の共有を徹底します。
- 教職員が、個性や能力、経験等を最大限に生かして職務に当たり、互いに高め合い、支え合うことのできる組織を作ります。
- みらい学園の指導を共有し、多様な個別の対応をさらに充実させます。
- 管理職は、教職員の悩みや苦労を共有し、適切な指導・支援を行うことで、安心して働ける学校風土を醸成します。